

I 平成23年度事業報告書

(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

えひめ産業振興財団では、本県経済の発展に資するため、地域産業の活性化、新事業の創出及び高度な技術の研究開発等を支援するとともに、中小企業の経営基盤の強化、IT導入による情報化促進等に積極的に取り組んでいるところである。

平成23年度においては、新事業支援の中核的機関として、ビジネスサポートオフィスを中心に、起業家精神に富んだ創業者や新事業分野へ進出する企業に対して、新事業の研究段階から、商品開発や販路開拓、事業化のための金融機関融資等に至るまで、チャレンジプランなどの各段階に応じたきめ細かな支援施策を実施するとともに、他の産業支援機関等との密接な連携・補完体制のもと、「チームえびす」として一体的かつ重層的な支援機能の高度化を図り、中小企業者等の経営課題解決、経営支援強化を積極的に行った。

また、総額100億円に拡充組成した「えひめ中小企業応援ファンド」により、地域資源の活用や地域のニーズに対応したビジネスの創出支援に努めるとともに、本県産業の高付加価値化、高度化を図るため、中小企業の技術開発、新事業の展開等を支援するなど、次代を担う新産業の育成に取り組んだほか、農林漁業者と中小企業者の連携強化による地域経済の活性化を図るため、25億円の「えひめ農商工連携ファンド」を活用した助成事業等を実施した。

一方、産学官連携促進についても、国の競争的資金を獲得して、大学・公設試等の関係機関と共同研究体を組織し、新製品開発・事業化に向けた技術シーズの実用化研究を行う戦略的基盤技術高度化支援事業、並びに日本型養殖モデル創出を推進するイノベーションシステム整備事業等を実施した。

下請企業振興事業では、幅広い受発注情報の収集提供や広域商談会を開催する等、県内下請中小企業の受注の安定的な確保と、新規取引先の獲得、自立化の促進を図った。

企業の情報化支援では、中小企業支援センター情報ネットワークの管理運営を通じ各種産業情報等の提供を行うとともに、IT人材育成研修やIT利活用支援セミナーの開催、eラーニングサービスの提供などにより、中小企業のIT利活用を促進した。

また、テクノプラザ愛媛及び愛媛県産業情報センターの管理運営主体として施設・設備の適正管理及びその利用の促進を図った。

なお、財団が寄附行為第4条に基づき平成23年度に実施した事業の概要は、次頁以降のとおりである。

第1 事業の概要

1 総務企画部関係

(1) 広報事業・情報提供業務（正味財産増減計算書内訳表①、⑫）

テクノプラザ愛媛と愛媛県産業情報センターの施設、各種事業等について財団のホームページに掲載するとともに、メールマガジン「財団からのお知らせ」を、県内中小企業に必要な情報や財団事業等について情報配信した。

その他、施設案内用パンフレットの作成、国・県の施策に関するリーフレット、各種調査事業による成果物を館内に配置し、情報の提供を行った。

また、財団所蔵の図書（約13,000冊）及びビデオ（約3,000本）の閲覧・貸出等を行い、利用者への情報提供を行った。

① 施設案内用パンフレット及びチラシの配布

「テクノプラザ愛媛・愛媛県産業情報センターのご案内」のパンフレットを各種会議及び企業等への訪問時に配布するとともに、商工団体等へはパンフレットチラシを持参し利用の促進を図った。

② 財団ホームページの運営管理

「財団実施事業情報」、「産業支援情報」、「施設利用案内」、「イベント情報」等について紹介した。

③ メールマガジンの配信

配信頻度 毎月1回

配信先数 約1,500アドレス

④ 図書・ビデオ貸出数

ア 図書・雑誌 919冊

イ ビデオ・DVD 440本

(2) テクノプラザ愛媛・愛媛県産業情報センター管理運営業務（内訳表⑫）

愛媛県から、テクノプラザ愛媛及び愛媛県産業情報センターの指定管理者の指定を受け、両施設の管理・運営を行った。

管理・運営に当たっては、施設の設置目的並びに指定管理者業務仕様書に基づき、企業等の多様なニーズに対応するとともに、利用者への広く公平なサービスの提供と安全性の確保を図ることはもとより、施設の機能を十分活かした管理・運営を行った。

テクノプラザ愛媛利用状況

利用施設	件数	人数
テクノホール	142	15,216
研修室	198	5,385
OA研修室	75	1,465
特別会議室	81	1,312
会議室	354	6,895
小会議室	229	3,150
合計	1,079	33,423

愛媛県産業情報センター利用状況

利用施設	件数	人数
ネットワーク研修室	7	85
会議室	89	1,871
合計	96	1,956

(3) テクノプラザ愛媛インキュベート・ルーム入居企業の状況（内訳表⑫）

（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

入居室番号	入居企業名	産業分野	入居許可期間	備考
201	Grasp Creations 戸田和義	情報通信	H23. 6～H24. 5	H23. 6. 1 入居
202	㈱エンカレッジ	ビジネス支援	H20. 9～H24. 8	H23. 9. 1 期間延長
203	㈱ITソリューションズ愛媛	情報通信	H21. 4～H24. 3	H23. 4. 1 期間延長
204	㈱エイチピースソフトスタジオ	情報通信	H21. 6～H24. 5	H23.10.31 退去
205	㈱エムページ	情報通信	H21. 6～H24. 5	H23.10.31 退去
301	アイティーオー㈱	環境(EV)	H22. 4～H23. 4	H23. 4.30 退去
302	LINK 井上大輔	建築	H22.10～H23. 9	H23. 9.30 退去
303	日進電子工業㈱	環境(EV)	H22. 6～H23. 5	H23. 5.31 退去
304	㈱アイカラー	情報通信	H17. 7～H23. 6	H23. 6.30 退去
306	㈱イーコム	情報通信	H22. 4～H24. 3	H23. 6.30 退去
308	西日本電信電話㈱愛媛支店	ビジネス支援	H 3. 4～H24. 3	H 2 3 . 5 . 1 206号室から転居
309	トリトンEVテクノロジー㈱	環境(EV)	H23. 8～H24. 7	H23. 8. 1 入居
317	えひめプロダクツ売り込みたい	ビジネス支援	H22. 3～H24. 3	H24. 2. 1 期間延長
319	㈱リーガル	情報通信	H23. 7～H24. 6	H23. 7. 1 入居
全20室 平成24年3月31日現在 入居企業：7社（入居率：43.3%/月平均）				

(4) 公益法人への移行の対応（内訳表⑬）

平成23年5月12日開催の評議員選定委員会において、公益法人移行後の最初の評議員が選任され、5月27日開催の評議員会において、移行後の役員を選任し、同日開催の理事会において、会計監査人の選任、理事長、専務理事、常務理事の選定、定款（寄附行為）の変更が議決された。

その後、県へ公益財団法人の認可申請を行い、平成24年3月22日付けで認可があり、4月1日に登記が完了し、同日から公益財団法人としてスタートした。

(5) 中小企業支援センター情報ネットワーク管理運営事業（内訳表①）

インターネットを通じて中小企業支援機関や商工団体等と連携を図るとともに、各種産業情報や企業情報等を収集・発信することにより、県内中小企業の情報化を支援するため、愛媛県からの委託を受け、中小企業支援センター情報ネットワークの管理・運営を行った。

○ 名称

愛媛県中小企業支援センター情報ネットワーク（ehime-iinet）

○ 発信する情報

ア 愛媛のプロフィール

イ 産業情報 企業情報、物産情報、伝統産業情報、商店街情報、図書・ビデオ情報

ウ 提供情報 中小企業支援情報、その他財団事業情報

(6) 中小企業戦略的IT活用支援事業（内訳表①）

県内中小企業のIT利活用を促進し、経営の効率化を図るため、愛媛県の補助を受け、中小企業に対する的確かつ迅速な情報の収集、加工、創出、提供等の体制を確立し、中小企業の戦略的なIT導入を支援した。

○ IT活用支援eラーニング

ITが企業活動のツールになるよう、各職場で実践的な内容を学べるeラーニングを財団ASPサイト上で提供した。（6コンテンツ追加）

○ 戦略的IT活用事例調査

県内のIT活用企業を調査し、財団ホームページで活用事例を紹介した。（インターネットによる「情報えひめ」を年6回発行）

○ 戦略的IT活用事例学習セミナー・展示

中小企業がIT導入の必要性を実感し、実践に移すきっかけを与えるためのセミナーの開催（1回）や展示（インキュベート・ルーム入居企業の「えひめITフェア2011」への出展（2社））を実施した。

○ インターネット等による経営動向、分析情報の提供等

- ・ 中小企業支援センターホームページ（財団HP）の運営管理を行った。
- ・ 中小企業の情報化に資する雑誌や図書など、各種貸出資料の収集を実施した。（雑誌：5種、図書：60冊、DVD：27巻）

(7) 高度IT人材創出・育成研修事業（内訳表①）

高度化する情報関連産業のニーズを踏まえ、実践的かつ即戦力として活躍できる人材を育成するため、愛媛県の補助を受け、IT技術者の実務・技術両面のスキルアップにつながる高度IT人材創出・育成研修を14講座実施した。

場所：テクノプラザ愛媛、産業情報センター

講座名	研修内容	実施日 (日数)	受講者数 (修了者数)	受講料
リーダーシップ&マネジメント強化	プロジェクトマネジャー・リーダーがプロジェクトを成功させるための二大要素、「リーダーシップ」と「マネジメント」を高める知識・技術についての解説と演習。	H23. 8.23 ～8.24 (2日間)	2名 (2名)	24,000 円
プロジェクトリーダーの役割と心構え	システムの企画・開発・運用を担当するプロジェクトマネジャーに必要な不可欠なマネジメントの基本姿勢について学習。	H23. 8.25 ～8.26 (2日間)	2名 (2名)	22,000 円
プロジェクトリーダーの管理心得	2～3割といわれるITプロジェクトの成功率において、プロジェクト技術だけではどうにもならない心得・ノウハウについて習得。	H23. 9.21 ～9.22 (2日間)	5名 (5名)	23,000 円
プロジェクトリーダーのための心理学(基礎編)	プロジェクトリーダーがマネジメントスキルを効果的に発揮し、プロジェクトを円滑に運営するために必要な心理学の基礎知識について学習。	H23.10. 3 (1日間)	8名 (8名)	18,000 円
JavaによるWebアプリケーション構築(基礎編)	Javaによる簡単なWebアプリケーションの構築や、J2EE1.4から標準となったタグライブラリの使用法について学習。	H23.11.14 ～11.15 (2日間)	10名 (10名)	21,000 円
システム開発におけるレビュー技法	プログラムの構造設計等において、プロジェクトチームとして効率的に機能するためのレビュー技法について、基本的な技術を学習。	H23.11.17 ～11.18 (2日間)	10名 (10名)	24,000 円

I T技術者のための問題発見・解決能力	システムトラブルの原因の本質を究明・把握し、未然にその種を発見するための方法等を考えるとともに、開発工程における問題発見の意識の持ち方について学習。	H23. 11. 21 ～11. 22 (2日間)	14名 (14名)	20,000 円
ネットワークセキュリティ	ルータとファイアウォールにおけるセキュリティ設定とVPN、セキュリティ監査ツール等の効果について学習。	H23. 11. 24 ～11. 25 (2日間)	12名 (12名)	20,000 円
現場で使えるプロジェクトマネジメント(実践力強化)	「プロジェクトをいかに失敗させないか」というスキルと併せ、問題を解決、収束し、プロジェクトを牽引できるリーダーとしてのスキルについて学習。	H23. 12. 14 ～12. 15 (2日間)	4名 (4名)	24,000 円
現場で使えるSEの技術(レビュー・テスト強化編)	ソフトウェアの品質確保が難しい環境の中で、品質を確保し、欠陥を防止することができるスキルについて習得。	H24. 1. 24 ～1. 25 (2日間)	5名 (5名)	23,000 円
チームリーダーに求められる「直感力と段取り力」	困難や問題に直面したときに必要となる「潜在意識のヒラメキによる解決法」及び仕事を成功させるための目標達成への段取りノウハウについて習得。	H24. 1. 26 ～1. 27 (2日間)	14名 (14名)	21,000 円
ネットワーク運用管理実践	ネットワーク運用管理・監視の手法に関する概念と技術を学習するとともに、実習を通し、現場における管理の実践について理解。	H24. 1. 30 ～1. 31 (2日間)	10名 (9名)	23,000 円
SEのためのネットワークセキュリティ	ネットワークにおけるセキュリティの問題を認識し、セキュリティ対策の基本知識を学習するとともに、ネットワークにおける具体的なセキュリティ対策の方法を学習。	H24. 2. 1 (1日間)	2名 (2名)	18,000 円
Web技術者のためのセキュリティ対策	Web技術者のために、セキュリティの脆弱さを上位設計の段階で排除できるよう、事例、対応策について学習。	H24. 2. 2 ～2. 3 (2日間)	4名 (4名)	27,000 円

(8) 高度情報通信分野進出事業者ハンズオン支援事業(内訳表⑤)

産業情報センターインキュベート・ルームの入居者を核に、NPO法人ITC愛媛等と連携を図りながら、相談・研修等の支援事業など情報通信関連の創業者育成に努めた。

① インキュベート施設の概要

インキュベート・ルーム：8室 [17.17㎡～35.00㎡]

商談室：1室、ミーティングルーム：1室、事業支援・相談室：1室

② 入居企業の状況

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

入居室名	入居企業名	産業分野	入居許可期間	備考
A	(株)エンブモコ	ソフトウェア開発及びハードウェア開発	H21. 4 ～H24. 3	H23. 4. 1 期間延長
B	カイゼン(株)	みかんの搾りかすを活用した炭化堆肥の研究開発	H24. 2 ～H25. 1	H24. 2. 1 入居
C	岩熊 裕明	竹炭商品の開発・販売	H23. 3 ～H25. 2	H24. 3. 1 期間延長
D	WEB TOUCH 村田大吾	Webポータルサイト等の制作、開発、販売	H23. 2 ～H25. 1	H24. 2. 1 期間延長
E	(株)JDI・Homes	一般住宅建設、リフォーム	H23. 4 ～H25. 3	H24. 4. 1 期間延長
F	ウェルネステクノロジー(株)	フィットネスのプログラム作成及びシステム開発	H22. 8 ～H24. 7	H23. 8. 1 期間延長
G	(株)プライサー	組版システムの開発・販売、携帯等ウェブサービスの開発	H21. 5 ～H24. 4	H23. 5. 1 期間延長
全8室 平成24年3月31日現在 入居企業：7社(入居率：83.3%/月平均)				

③ 入居者等支援事業

NPO法人ITC愛媛と連携を図り、各入居者への相談業務のほか、支援会議やブラッシュアップ研修会の開催を通じ、入居企業をはじめとした情報通信関連企業の育成に取り組んだ。

ア 相談業務 57回

イ ブラッシュアップ研修会

実施日 [場所]	研修内容	講師
平成23年 6月16日 [テクノプラザ愛媛]	「強い会社をつくる ～売れるではなく売るための営業強化1～」	藤田 茂俊
平成23年 7月28日 [テクノプラザ愛媛]	「強い会社をつくる ～売れるではなく売るための営業強化2～」	上田 保
平成23年 9月15日 [テクノプラザ愛媛]	「強い会社をつくる ～売れるではなく売るための営業強化3～」	上田 保
平成23年10月27日 [テクノプラザ愛媛]	「強い会社をつくる ～売れるではなく売るための営業強化4～」	玉野 聖子
平成23年12月15日 [テクノプラザ愛媛]	「強い会社をつくる ～売れるではなく売るための営業強化5～」	岩本 直樹
平成24年 2月 9日 [テクノプラザ愛媛]	「強い会社をつくる ～売れるではなく売るための営業強化6～」	岩本 直樹

(9) 情報化基盤整備促進事業（内訳表⑩）

県内中小企業者が情報通信機器を有効に活用し、自ら情報化を推進していけるよう、IT利活用の支援に関するセミナー開催等の啓蒙普及活動や情報収集等を実施した。

○ IT利活用支援セミナー

◇第1回

- ・開催日：平成24年1月13日（金）
- ・テーマ：無料でココまで出来る！SNSとWebで顧客増
- ・受講者数：45名

◇第2回

- ・開催日：平成24年2月17日（金）
- ・テーマ：無料でココまで出来る！クラウドで業務効率化
- ・受講者数：42名

(10) 愛媛県地域産業活性化企業誘致活動事業（内訳表⑪）

「企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律」に基づき愛媛県及び関係市町において、平成20年2月に策定、国の同意を得た5つの「基本計画」に基づき、本県の産業基盤や特性を活かした企業立地、産業集積を図り、本県地域経済の活性化や雇用の増大に資するため、各種の企業誘致活動を実施した。

① 事業実施主体 愛媛県地域産業活性化協議会（事務局：財団法人えひめ産業振興財団）

② 事業内容

・企業誘致力向上事業

市町をはじめとする会員団体が一体となって企業の誘致や留置活動を推進するため、企業の投資動向を把握し、新たな投資の可能性のある企業を探るとともに、県内企業の投資動向や雇用動向についても把握し、県内企業の留置にも努めた。

また、以下のとおり企業誘致アドバイザーとの意見交換会や企業誘致に造詣の深い講師を招いた講演会を行い、情報の共有と企業誘致の実現に向けた意識の向上を図った。

1	日時	平成23年7月21日（木）
	場所	愛媛県立図書館多目的ホール
	内容	愛媛県が委嘱している「企業誘致アドバイザー」との意見交換等により、企業誘致力向上のための情報収集等を行った。
2	日時	平成24年2月1日（水）
	場所	愛媛県立図書館多目的ホール
	内容	大和ハウス工業株式会社東京支社から講師を招き営業術等を学ぶとともに、企業誘致力向上のための情報収集等を行った。

・企業誘致イベントへの参加

愛媛県が知事のトップセールスにより、関西圏で初めて実施した企業誘致イベント「えひめ産業立地フェア2011 in Osaka」に参加するとともに、会員市町の工業用地、優遇措置等や地元企業をPRするための展示ブースを設置し、基本計画の実現に向けた企業誘致活動を実施した。（来場者数168社230人）

(11) 下請企業振興事業（内訳表①）

県内下請中小企業の受注の安定確保を図るため、広域取引情報の提供、商談会の開催など、取引あっせんを推進するとともに、取引の適正化のための各種事業を実施した。

① 取引情報提供事業

発注情報等を下請中小企業に提供するほか、県内下請中小企業が保有する設備内容を掲載した受注登録企業名簿を紹介し、広く県外の有力発注企業を訪問し県内下請中小企業の受注促進を支援した。

発注開拓調査

調査企業数	調査対象	内 容
735社	鉄工・電気関連	今後の生産計画や新規発注計画について
93社	縫 製 関 連	今後の生産計画や新規発注計画について

発注開拓訪問企業

実施年月日	訪 問 企 業
23. 11. 15～16	J F Eエンジニアリング（株）、三菱化学エンジニアリング（株）、コスモエンジニアリング（株）
24. 3. 22～23	新日本工機（株）信太山工場、ナブテスコ（株）船用カンパニー、（株）川崎重工業明石工場、

② 商談会等開催事業

県内外発注企業の具体的な発注ニーズを把握し、発注企業と県内下請中小企業との間で、個別の面談を行う「四国4県（四国ビジネスマッチング2011）」「大阪モノづくり受発注（8府県）」及び「近畿・四国10府県」による合同緊急広域商談会を開催し、県内下請中小企業の新規取引先の開拓を支援した。

広域商談会開催事業

ニーズ調査

調査企業数	調査対象	内 容
8, 227（四国）	鉄工・電気関連	新規の発注内容や商談会への参加の有無について
6, 773（大阪）	鉄工・電気関連	新規の発注内容や商談会への参加の有無について

7,902 (近畿)	鉄工・電気関連	新規の発注内容や商談会への参加の有無について
------------	---------	------------------------

商談会

開催年月日	開催場所	発注企業数	受注企業数	商談件数
23. 8. 4	高知市	47社	32社	184件
23. 11. 18	大阪市	47社	8社	29件
24. 2. 23~24	京都市	122社	16社	44件

③ 取引条件改善講習会等開催事業

下請取引の適正化を推進するため、取引に係る法令を中心とした取引条件改善講習会を全国中小企業取引振興協会と連携して開催した。

中小企業取引条件改善講習会

開催年月日	開催場所	参加者数	内 容
23. 9. 15	松山市	54名	<ul style="list-style-type: none"> 下請適正取引に関する情報の紹介について 下請代金支払遅延等防止法及び下請中小企業振興法の概要について 下請代金支払遅延等防止法の詳細について

④ 支援体制円滑化事業

全国中小企業取引振興協会との連携のもと、広域的な発注案件情報の収集に努め、県内下請中小企業への情報提供を行うとともに新規発注先の開拓を図った。

業種別登録企業数

受発注別業種	発注	受注	計
鉄工・電気	131	394	525
縫 製	145	270	415
そ の 他	26	30	56
計	302	694	996

業種別あっせん成立件数及び契約当初受注金額

(単位：千円)

業 種	成立件数	契約当初受注金額
鉄工・電気	17件	21,907
縫 製	0件	0
計	17件	21,907

(12) 設備資金貸付事業 (内訳表⑧)

償還業務及び巡回指導業務を実施した。

(13) 設備貸与事業 (内訳表⑨)

償還業務及び巡回指導業務を実施した。

(14) 機械類貸与事業 (内訳表⑩)

償還業務及び巡回指導業務を実施した。

2 産業振興部関係

(1) 新産業総合支援事業（内訳表②）

① 支援体制整備事業

ア ビジネスサポートオフィスによる窓口相談

新商品開発や新事業創出に取り組む個人や企業からの相談に対応するため、「ビジネスサポートオフィス」(BSO)に、プロジェクトマネージャー1名、研究員2名等を配置し、1,509件の相談に対応した。

[相談件数]

相談内容	計
経営全般	404
マーケティング	280
資金	106
法律	33
技術	37
ビジネスプラン	340
I T	119
会社設立	34
特許	37
その他	119
計	1,509

(参考) 平成22年度 1,939件
 平成21年度 2,402件
 平成20年度 2,224件
 平成19年度 1,726件
 平成18年度 1,815件
 平成17年度 1,693件

イ 連携事業（県内支援機関ネットワークの形成）

支援機関連絡会議の開催により、県内支援機関との連携促進を図るとともに、制度紹介のためのパンフレットを作成した。

○支援機関連絡会議 開催実績4回

<連携機関>

- ・(財)東予産業創造センター
- ・(株)西条産業情報支援センター
- ・(財)今治地域地場産業振興センター
- ・商工会議所連合会・商工会連合会、中小企業団体中央会
- ・(独)中小企業基盤整備機構四国支部
- ・NPOベンチャーアライアンス協会
- ・県経済労働部 ほか

<開催日時>

第1回：平成23年 6月 3日（金）13：00～16：00

第2回：平成23年 9月 6日（火）13：00～16：30

第3回：平成23年12月 9日（金）10：00～12：00（担当者会議のみ）

第4回：平成24年 3月22日（木）13：00～14：00

ウ セミナーの開催

○「チームえびす支援成果事例セミナー」

日時 平成24年3月22日（木）14：00～17：00

場所 テクノプラザ愛媛 テクノホール

内容 チームえびすにおいては県内18拠点でコンソーシアムを組成し、県内中小

企業者等の経営課題における各種支援をワンストップサービスの機能を持って、実施してきたところである。その結果、支援ノウハウの蓄積が進んでいることから、各関係機関等で情報を共有し、支援者のスキルアップにより今後の中小企業者等の支援に役立てること、県内中小企業者等に制度の周知と利用促進につなげることを目的として当セミナーを開催した。

② 専門家派遣事業

中小企業者から持ち込まれた経営上の問題や、課題の解決を図るため、財団に登録されている専門家（ビジネスアドバイザー）を派遣する。

派遣延べ件数 244件 対象企業（個人）47先

③ チャレンジプラン（新商品研究支援事業）

新商品開発や新事業創出に取り組むグループに対し、研究開発に要する経費を支援するもので、平成23年度は、4グループを支援した。

支援対象分野	支援対象グループ	成果
環境・廃棄物	【23年度新規 0グループ】 なし	
農水業・食品加工	【23年度新規 2グループ】 1 伊予市地域資源活用新商品開発プロジェクト 2 ブルーベリー美人革命「ベリー愛秘美健」	試作品 販売
医療	なし	
新技術工業製品	【22年度継続 1グループ】 1 消臭用チャコールスズシェード開発グループ	
その他	【23年度新規 1グループ】 1 奥伊予街道七駅物語事業推進協議会	
合計 4 グループ（23年度新規 3）		

<23年度の成果>

新商品の試作品が完成したグループ…………… 1 グループ

新商品の販売に至ったグループ…………… 1 グループ

新事業のための新会社設立に至ったグループ…………… 0 グループ

④ 新商品事業化推進事業（見本市・展示会等への出展支援）

首都圏等で開催される展示会等への新商品の出展を支援した。

展示会名等	主催	時期	場所	出展者
東京ビジネス・サミット2011	インクグロー(株)	H23.12.1～H23.12.2	神戸国際展示場	5社
せとうち旬彩館	愛媛県、香川県	H24.1.30～H24.2.5	東京都港区新橋	1社

⑤ パイオニア（金融機関連携融資円滑化事業）

地元金融機関と連携し、新商品開発や新事業に取り組んでいる企業のうち、財団が推薦する者には、金融機関は原則無担保で円滑に融資を実行し、財団は1年を限度に必要な専門家を無料で派遣し、販路開拓支援や経営管理等の指導を行うもので、平成23年度については、支援実績はなかった。

⑥ チームえびす支援成果事例集の作成

県内各拠点の協力の下、各拠点から寄せられた優良事例による事例集を作成し、チームえびす各支援機関等へ配布した。

作成部数 8,000部

⑦ 起業家育成施設支援強化事業

ア 創業準備室の提供

会社を設立しようとする個人に創業準備室を提供し支援した。平成23年度中の新規利用者は、延べ8人である。このうち、1人が入居中に法人を設立した。

イ インキュベーション・マネージャー（IM）養成研修

創業準備室、インキュベート・ルーム入居者の育成支援を行うIM養成研修に1名派遣し、インキュベーション・マネージャーの認定を受けた。

ウ インキュベーション施設支援強化

創業準備室及びインキュベート・ルーム入居者を対象に、IM等専門家によるサポート、商品化プランニング支援等を行うとともに、入居者同士のビジネス創出交流会を開催した。

(2) えひめ先進環境ビジネス創出推進事業（内訳表②）

低炭素社会の実現に向け、環境と経営の両立は企業においては急務となっており、環境ビジネスの分野は、今後大きな成長が見込まれている。そこで、県内事業者等への先進環境ビジネスへの取組を積極的に支援することにより、県内における先進環境ビジネスの創出の促進を図った。

[事業の内容]

① 県内先進環境ビジネス普及推進事業

先進環境ビジネス創出支援プロジェクトマネージャー等の配置

先進環境ビジネスの創出のため、先進環境ビジネス創出支援プロジェクトマネージャー1名を配置し、県内における先進環境ビジネスの創出及びえひめ先進環境ビジネス研究会プロジェクトチームの活動支援等を行った。

氏名	得意分野、資格のうち主なもの
細谷 静	一級建築士、カーボンフットプリント、カーボンオフセット関連

② 先進環境ビジネスプロジェクトチームへの支援

「えひめ先進環境ビジネス研究会」で認定されたプロジェクトチームの活動のうち、専門家の派遣経費について支援し、県内での先進環境ビジネスの創出を促進した。

プロジェクトチーム名	取り組み概要	成果等
地域型低炭素化推進スキーム 関連ビジネス研究プロジェクト	内子町をフィールドとして、地域ぐるみの低炭素化の取り組み（バイオマスエネルギー利用による国内クレジット制度活用、森林整備等によるJ-VER制度活用、オフセットクレジットの商品化）を推進する。	J-VER制度によるクレジット認証のためのプロジェクト登録がなされた。 引き続き再生可能エネルギーを利用した発電事業などの市民ファンド型環境ビジネス創出へ向けた要請があり活動継続中である。
県内創出オフセットクレジットによるカーボン・オフセット推進研究会	県内で創出されるJ-VER制度による森林吸収クレジット（森林の間伐促進により増加したCO2吸収量を売買可能にしたもの）を活用して、イベント利用やオフセット商品化、あるいは地域と特定企業との交流ツールとして活用するための商品期間や販路開拓を通じて、低炭素社会づくりへ向けた環境ビジネスモデル成立の可能性を探る。	久万広域森林組合及び東温市におけるクレジット認証を踏まえその利活用促進のための連携体をPTとして設置できクレジットを利用した商品化がなされた。新たに伊予森林組合、西予市が参加予定で活動継続中

東温市国内クレジット活用プロジェクト	「とうおん太陽の恵みスマイルプロジェクト」として、家庭での太陽光発電設備の設置によるCO ₂ の排出量の削減実績を、国内クレジット制度を活用して「排出枠」として集約し、これら取り組みに賛同・参加する企業が排出枠を活用して商品化及び販売促進方策等を検討及び実施することによって、クレジットを活用した地産地消型モデルの可能性を探る。	住宅の太陽光設置促進より得られた国内クレジット制度のクレジットを利用し地元企業との連携によるオフセットプロジェクトが当PT支援により実現した。引き続き、活動進行中である。
カーボンフットプリント制度を活用した地場産品商品化プロジェクト	省CO ₂ 型農産品（菌床しいたけ等）のカーボンフットプリント制度を活用した認証・表示方式での商品化に取り組むことにより、県内生産物の環境配慮型製品の普及・促進に向けた基礎的要件の把握・制度活用の習熟化を図る。	県内で最初の農産品の認証商品となった。23年度は、新たに今治タオル、城川ハム、母恵夢等県産品の見える化が加わりエコプロダクツ2011での展示など取り組み成果をアピールできた。引き続き、普及促進のために継続していきたい。
西条地域再生エネルギー研究会 【23年度新規】	西条地域では、豊富な森林資源をはじめ太陽光発電システムを全国展開する企業や森林（整備）産業の振興に積極的な企業が立地し再生エネルギー供給基地構想を推進するにふさわしい優れたプレイヤーが存在している。このような地域の利を生かした再生可能エネルギー供給基地を整備することに興味のある者により意見・情報交換の場を提供し事業実現に寄与する。	23年度は、環境ビジネス専門家によるセミナー開催などを通じて見識の共有化に努めてきた、引き続き継続して実現化支援の予定である。
合計 5 グループ （23年度新規 1）		活動継続中 5

③ CO₂ 見える化による商品価値向上事業

CO₂ 排出削減量をクレジット化し商品の付加価値として利用するなど、県産品の商品価値向上と連動した取り組みを推進するため県産クレジットのロゴマークを作成、デザインマニュアル作成、利用規定の整備、インターネットを通じた案内などの整備をおこなった。

④ えひめのCO₂ 見える化推進事業

県内製品のCO₂ 見える化促進の一環として、楠橋紋織(株)、城川開発公社、(株)母恵夢、(株)茶瑠の参加を得て、LCA 方式による各事業者の商品・サービスなどに関してCO₂ 排出量の見える化に関する研修や実務演習、排出量の試算などの取り組み支援を行った。またこうした一連の取り組み成果をエコプロダクツ 2011 及びカーボン・マーケット EXP02012 に出展展示し、関係者からの高い評価を得ることができた。

⑤ 国内クレジット促進事業費

四国地域内での国内クレジットの創出と活用を促進するために、県内金融機関、行政機関、企業等をメンバーとするネットワーク会議を開催するとともに、国内クレジット創出、活用促進に向けたセミナーを県内で開催した。

○国内クレジット地域ネットワーク会議 開催実績 2回

開催日時

第1回：平成23年 6月15日（水）13：30～16：30

出席者：経済産業省、四国経済産業局、愛媛県産業創出課、伊予銀行、愛媛銀行、愛媛信用金庫、四国電力、四国ガスほか

第2回：平成24年 2月29日（水）13：30～16：30

出席者：四国経済産業局、愛媛県産業創出課、東温市、伊予銀行、愛媛銀行、
愛媛信用金庫、四国電力、四国ガス、省エネセンター四国支部ほか

開催場所

いずれもテクノプラザ愛媛 2階 特別会議室

(3) グリーン・イノベーション関連ビジネス活性化促進事業（内訳表②）

えひめ先進環境ビジネス創出推進事業を補完・連携し、県内事業者に対して、先進環境ビジネス、省エネルギー関連分野の国等の支援制度、先進事例などを紹介するセミナーを開催するとともに、県内事業者に対する意識啓発及び先進環境ビジネス研究会会員に対する情報共有を図るためのホームページを運営した。

[事業の内容]

① 普及拡大のセミナー等の開催

先進環境ビジネスの普及推進のために下記に示すセミナーを開催した。

「えひめ先進環境ビジネス推進セミナー」の開催

○第1回 えひめ先進環境ビジネス推進セミナー

日時 平成23年6月1日（水）13：30～16：30

場所 テクノプラザ愛媛 テクノホール

内容 ・セミナー

「最新環境ビジネス事情について」

講師：みずほ情報総研(株) シニアマネージャー 弓崎 伸彦氏

○第2回 えひめ先進環境ビジネス推進セミナー

日時 平成23年7月13日（水）15：00～17：00

場所 いよてつ会館5階 クリスタルホール

内容 ・セミナー

「NEDOにおける新エネルギーの取り組みについて」

独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）

新エネルギー部長 和泉 章 氏

○第3回 オフセット・クレジット（J-VER）制度研修会

日時 平成23年8月30日（火）13：00～17：00

場所 テクノプラザ愛媛 テクノホール

内容 第1部 セミナー

「カーボン・オフセットとJ-VER」

～J-VERを利用したストーリー性のある地球温暖化対策～

講師：カーボン・オフセットフォーラム事務局 ディレクター

細埜 あや 氏

「オフセット・クレジット（J-VER）売買のポイント」

講師：中・西日本J-VER推進事務局 三菱UFJリサーチ&コンサルテ

ィング株式会社 環境・エネルギー部 主任研究員

竹田 雅浩 氏

「熊本県小国町におけるカーボン・オフセットの取組について」

講師：熊本県小国町役場農林振興課 主査 穴井 徹 氏

第2部 ミニシンポジウム

－愛媛県におけるJ－VER推進とオフセット・クレジットの活用について－

(1) 県内の先進事例紹介

「久万広域森林組合におけるJ－VER制度の取り組みについて」
久万広域森林組合 活性化センター 係長 横田 和志 氏

(2) J－VER市場の動向及びプロバイダーから見たオフセット・クレジットの販売について

株式会社リサイクルワン 温暖化対策事業部
野田創太郎 氏

カーボンフリーコンサルティング株式会社 本澤 友行 氏
株式会社アドバンテック 経営企画室 室長 水野 裕太郎 氏

(3) パネルディスカッション

－愛媛県におけるJ－VER推進とオフセット・クレジットの円滑な利活用推進について－

パネリスト
各講師全員、コーディネーター
先進環境ビジネス創出支援プロジェクトマネージャー
細谷 静 氏

○第4回 えひめ先進環境ビジネス推進セミナー

日 時 平成23年9月29日(木) 13:30～16:30

場 所 道後温泉 ホテル花ゆづき

内 容 ・セミナー

「星野リゾートの環境経営について」

講師：(株)星野リゾート 環境マネジメント・食品安全管理責任者
塩出 勝久 氏

・トークセッション

① 事例報告1 「道後温泉旅館協同組合の環境への取り組みについて」

講師：道後温泉旅館協同組合 宮崎 光彦 氏

② 事例報告2 「県内における先進事例の紹介について」

講師：南高井病院 総務部長 中川 孝志 氏

(株)ダイキアクシス 開発事業部長 大亀 剛 氏

③ 「展望について」

講師、報告者によるフリートーキング

○えひめ先進環境ビジネス推進特別セミナー

日 時 平成24年2月21日(火) 13:30～16:30

場 所 全日空ホテル南館4階 エメラルドルーム

内 容 ・セミナー

「ボーイング787と全日空の環境配慮型経営について」

講師：全日空(株) CSR推進部 主席部員 石崎 好子 氏

「ボーイング787と炭素繊維について」

講師：東レ(株) ACM技術部長 小田切 信之 氏

② 専用ホームページの開設、運営

財団ホームページ内の専用のサイトで運営している、「えひめ先進環境ビジネス研究会」のホームページにおいて、先進環境ビジネスの創出に関する情報の提供を行うとともに、「えひめ先進環境ビジネス推進研究会」会員企業相互間の情報共有を促進した。

(4) 農業経営者起業力育成モデル事業（内訳表②、5月補正）

近年進展している農商工連携や農産物の販売チャネルの多様化に伴い、農業者も企業家的、経営者的感覚が強く求められるようになってきている。そこで、自ら商品企画力、販売力、商品の魅力を伝える力及びコストを重視した経営感覚を身に着けることを目的とした研修事業を実施した。

① 実務研修

講座名	開催日時	開催場所	研修内容	参加人数
	平成23年7月5日(火) 19:00-21:00	テクノプラザ愛媛 (松山市久米窪田町337-1)	「今なぜマーケティングなのか」	9人
	平成23年7月26日(火) 19:00-21:00		「お金の流れを整理しましょう①」	10人
	平成23年8月2日(火) 19:00-21:00		「お金の流れを整理しましょう②」	6人
	平成23年8月30日(火) 19:00-21:00		「現状の事業内容を把握しましょう①」	7人
	平成23年9月13日(火) 19:00-21:00		「現状の事業内容を把握しましょう②」	8人
	平成23年9月27日(火) 19:00-21:00		「事業の将来を考えましょう①」	5人
	平成23年10月11日(火) 19:00-21:00		「事業の将来を考えましょう②」	7人
	平成23年10月25日(火) 19:00-21:00		「売るための戦略を考える ①」	12人
	平成23年11月8日(火) 19:00-21:00		「売るための戦略を考える②」	8人
	平成23年11月22日(火) 19:00-21:00		「販売ツールとしてWebを活用する」	7人
	平成24年1月24日(火) 19:00-21:00		「販売ツールとして産直市を活用する」	5人
	平成24年2月14日(火) 19:00-21:00		「6次産業化の仕組み、農商工連携について」	5人
	平成24年2月16日(木) 19:00-21:00		「小規模産地(こだわり農家)における流通販売について」	5人

② 実地研修

区 分	開催日時	開催場所	内 容	参加人数
先進事例視察	平成23年10月26日(水) -27日(木)	伊賀の里モクモク手づくり ファーム(三重県) こと京都(株)(京都府)	6次産業化の 取組みを視察	6人
中小企業者との 交流会	平成23年10月27日(木) 19:00-20:00	テクノプラザ愛媛	意見交換外	受 講 生 6人 中小企業経営者 等18人
中小企業者との 交流会	平成24年3月16日(金) 10:30-16:30	道の駅みま(宇和島市三間町) (株)みかん職人武田屋(南 宇和郡愛南町)	意見交換	受 講 生 5人 中小企業経営者 2人

(5) 地域課題解決活動創出支援事業(内訳表②、5月補正)

助け合い支えあう地域社会の構築には、ボランティアなど社会活動のリーダーとなる人材の育成や県民が参加しやすい環境の整備が重要である。そこで、地域課題の解決に主体的に取り組み、継続的に公共サービスを提供していくための事業を提案し、事業創出の可能性のある地域で、多様な主体との協働により実行する地域課題解決活動の担い手を育成することを目的として、担い手養成研修を実施した。

① カリキュラムの作成

地域課題の抽出方法や地域のコミュニティとの連携に必要なもの、協働に向けて必要な考え方をはじめ、継続的な事業として取り組めるように、損益分岐点の考え方やキャッシュフローの概念、NPO 法人設立の手続きなど、地域課題解決型事業の起業に必要と思われる実践的知識と能力を可能な限り系統的に習得できるよう、「地域課題解決型社会的起業マニュアル」を作成し、担い手養成研修用テキストとして活用した。

② 担い手養成研修の実施

担い手養成研修は、受講希望のあった10団体に対し、各3回程度、テクノプラザ愛媛をはじめ東、中、南予の各会場において、上記テキストにより実施した。

[担い手養成研修参加団体]

	団体名	代表者	テーマ内容
1	いりこ倶楽部	山川 和子	四国中央市川之江町にて、川之江のお酒やいりこ、食材を知ってもらう体験観光ツアーの企画・運営を行う。また、川之江お土産セットを作り全国に発信する。まず、学生グループと大人グループのモニターツアーを行う。
2	新居浜協働オフィス	石塚 斐子	空き部屋を使って子どもの育児支援を行う。子育て中の親を対象に、子どもの預かりや育児の情報交換の場として、空き部屋を利用して子育て支援を行う。
3	佐礼谷	北岡 康平	佐礼谷の交流拠点の運営を行う。子どもからお年寄りまで気軽に立ち寄れるみんなの居場所をつくり、集まった人たち一人ひとりの経験や能力を活かして、自分の生きがいを見出してもらう。
4	新居浜	三宅 慎也	新居浜大島や商店街を活性化・元気にするために新居浜のお祭りや昔の取り組みの広報事業を行う。また、新居浜大島のサイクリングのためにレンタサイクルの置き場を作り運営を行う。
5	LOVE DREAM	吉良 愛	結婚で困っている人の支援を行う。婚活に悩む本人やその家族などを対象に、人づくり、関係づくりを行えるカフェサロンの運営を行う。
6	ひめプロジェクト	宮下志乃富	愛媛のよいものを全国に売り出す。女性起業家が集まり、愛媛のよいもの商品などをアピールする。ひめのキャラクターを利用して2ヵ月に1回イベントを行い全国に愛媛を発信する。

7	八幡浜みなとまちづくり ワーキング・グループ	木村 謙児	八幡浜のみならずの広報支援や豊かな八幡浜の環境を使って旅プランを企画する。また、災害時の情報共有としてコミュニティFMを開通して生活課題を解決する。
8	NPO 新居浜いきいき工房 ／住・環境デザイン研究所	吉川 貴士／ 村上 洋子	木造住宅の長命化を図り、快適な生活を提供する。木造住宅を対象に温湿度や地盤調査など調査研究を行い、住宅の診断、ソフトやハード面の住まい方の提案を行う。
9	NPO うわじま	和田てつ子	宇和島で食にこだわった無農薬の食品を都会に売り出す。まず宇和島で本物の塩の生産を行い塩づくりクラブを立ち上げ塩づくりの体験をしてもらいながら売り出す塩を決定する。
10	歯科技工士	唐原 慎一	歯科技工士の技工の向上を目指して、技工士を対象とした軽貨物バイク便の配送業の運営を行う。また、歯科技工士の若者に向けてのインターンシップ制の支援を行う。

[担い手養成研修実施状況]

受講代表者	研修実施日	実施時間	実施場所	講師
石塚 斐子	平成 24 年 2 月 6 日(月)	13:00~16:00	新居浜市繁本町 8 番 65 号 新居浜市まちづくり協働 オフィス	前田眞
	平成 24 年 2 月 7 日(火)	13:00~17:00		
	平成 24 年 2 月 28 日(火)	16:00~21:00		
北岡 康平	平成 23 年 12 月 17 日(土)	13:00~16:00	松山市久米窪田町 337-1 テクノプラザ愛媛 1 階ミ ーティングスペース	前田眞
	平成 24 年 2 月 13 日(月)	13:00~16:00		
三宅 慎也	平成 23 年 12 月 18 日(日)	13:30~16:30	新居浜市繁本町 8 番 65 号 新居浜市まちづくり協働 オフィス	前田眞
	平成 24 年 1 月 15 日(日)	15:00~17:30		
	平成 24 年 2 月 5 日(日)	14:30~17:30		
吉良 愛	平成 23 年 12 月 12 日(月)	13:00~16:00	松山市久米窪田町 337-1 テクノプラザ愛媛	前田眞
	平成 23 年 12 月 19 日(月)	13:00~16:00		
宮下 志乃富	平成 23 年 12 月 17 日(土)	13:00~16:00	松山市久米窪田町 337-1 テクノプラザ愛媛	前田眞
	平成 24 年 1 月 16 日(月)	13:00~16:00		
	平成 24 年 2 月 1 日(水)	13:00~16:00		
木村 謙児	平成 23 年 12 月 27 日(火)	13:30~16:30	八幡浜市仲之町 360-1 ハーバープラザホテル 及び八幡浜支局	前田眞 藤田茂俊 (3/8)
	平成 24 年 1 月 11 日(水)	9:00~12:00		
	平成 24 年 3 月 8 日(木)	19:00~21:00		
吉川 貴士／ 村上 洋子	平成 23 年 12 月 18 日(日)	13:30~16:30	新居浜市繁本町 8 番 65 号 新居浜市まちづくり協働 オフィス他	前田眞
	平成 24 年 1 月 15 日(日)	18:00~19:30		
	平成 24 年 2 月 8 日(水)	9:30~12:30		
和田 てつ子	平成 24 年 1 月 30 日(月)	13:00~17:00	宇和島市天神町 7-1 南予地方局	前田眞
	平成 24 年 3 月 5 日(月)	13:00~17:00		
唐原 慎一	平成 24 年 1 月 18 日(水)	9:00~12:00	松山市久米窪田町 337-1 テクノプラザ愛媛 BSO	前田眞
	平成 24 年 2 月 2 日(木)	9:00~12:00		
	平成 24 年 2 月 28 日(火)	10:00~12:00		
山川 和子	平成 24 年 1 月 12 日(木)	20:00~22:00	四国中央市金田町 梅錦山川 株式会社	前田眞
	平成 24 年 2 月 2 日(木)	20:00~22:00		
	平成 24 年 2 月 17 日(金)	14:30~16:30		

- ③ 協働化プランの作成支援及び公開プレゼンテーション・ミニフォーラムの実施
担い手養成研修を修了した受講者のうち、地域課題解決活動創出支援助成事業への応募希望のあった3団体に対して専門家を派遣して協働化プランの作成支援を行うとともに、公開プレゼンテーション及び審査会を開催し、3団体とも採択された。
また、公開プレゼンテーションに続いて、事業者間の交流と意識の醸成を図るため、ミニフォーラムを開催した。

【公開プレゼンテーション、審査会、ミニフォーラム】

日時；平成 24 年 3 月 26 日(月)13：00~18：00

会場；愛媛県産業情報センター1階会議室【プレゼン・フォーラム会場】

テクノプラザ愛媛 2階会議室【審査会会場】

[構成]

- 第1部 13:00~15:00 公開プレゼンテーション
- プレゼン時間;各グループ7分
 - プレゼンテーショングループ
 - ・佐礼谷グループ 申請代表者 松浦 弘正
 - ・いりこ倶楽部グループ 申請代表者 山川 和子
 - ・NPO 新居浜いきいき工房グループ 申請代表者 村上 洋子
- 第2部 15:10~16:30 ミニフォーラム
- ファシリテーター
 - ・有限会社 邑都計画研究所 前田 眞 氏
 - パネリスト
 - ・株式会社 ポラリス・セレクトアリーズ・オフィス
代表取締役 和住 麻矢 氏
 - ・眞田井良子 建築・まち育て研究所 代表 眞田井 良子 氏
 - ・NLP ISLAND 代表 中嶋 美知 氏
- 審査会(非公開)
- 審査委員会委員等による採択審査
 - 委員名
 - ・勝川 智行 愛媛銀行感性価値創造推進室 室長
 - ・岩丸 祐健 愛媛県法人会連合会事務局長
 - ・横山 史 NPO 法人 Eyes 代表者
- 第3部 16:30~18:00
審査結果発表・講評・参加者交流会

[採択された3団体]

- いりこ倶楽部
 - ・助成金額 1,000,000 円
 - ・実施に当たっての留意事項
 - ① 塊世代、ビジネス出張客などターゲットとする層を再検討。
 - ② 酒を前面に打ち出した売り込みなど、打ち出し方の再検討。
- 佐礼谷
 - ・助成金額 1,000,000 円
 - ・実施に当たっての留意事項
 - ① NPO が核となって、地域に「生きがい・やりがいつくり」が広げられる取組みを進めること。
 - ② 山地域への転出者への活用も検討すること。
- 住・環境デザイン研究所
 - ・助成金額 1,000,000 円
 - ・実施に当たっての留意事項
 - ① NPO として取り組んでいくことの必要性を整理し、NPO としての理念との整合を念頭に事業を展開すること。

(6) 債務保証関係事業

① 債務保証事業 (内訳表③)

県内で、高い技術力を有しながら、資金調達力の不足のために研究開発に取り組むことが出来ない中小企業のために、研究開発資金の借入に対して、無担保の債務保証を実施した。

なお、新規の保証については、平成11年度で終了し、現在事業廃止に向けて検討中である。

② 研究開発型企业等投資支援事業（内訳表⑦）

創造的な事業活動を行う研究開発型の中小企業を育成するため、中小企業創造活動促進法の認定企業に対し、民間投資会社を通じて株式取得や社債引受けを行う事業を平成7年度から実施している。（新規の投資事業は平成14年度をもって廃止した。）

- ・これまでの実績 投資企業：13企業 投資件数：16件 投資金額 450,000千円
- ・うち継続中の案件 継続案件なし。（平成23年度1件10,000千円償還済）

(7) 地域中小企業応援ファンド事業（内訳表⑤）

地域資源を活用したビジネスの創出に取り組む個人やグループ活動等の企業化を支援するほか、県内の既存産業の高付加価値化、高度化を図るとともに、販路開拓、新事業展開等の取組などを支援することにより、ビジネスの裾野拡大、ひいては次代を担う新産業の育成や雇用の創出を推進するため、基金を19年度から順次造成し「えひめ中小企業応援ファンド」を創設するとともに、中小企業者等への助成を行う助成事業及び地域密着型ビジネスコーディネーターの設置等による支援事業を行った。

① 基金の造成状況

- ア 基金総額 100億円
- イ 拠出機関（無利子貸付）

拠出機関	1号ファンド	2号ファンド	合計
	地域密着 19.11.19造成	活力創出 21.2.20造成	
愛媛県	2億円	3億円	5億円
株式会社伊予銀行	1億5千万円	2億2千5百万円	3億7千5百万円
株式会社愛媛銀行	1億5千万円	2億2千5百万円	3億7千5百万円
愛媛信用金庫	1億5千万円	2億2千5百万円	3億7千5百万円
四国電力株式会社	1億5千万円	2億2千5百万円	3億7千5百万円
独立行政法人中小企業基盤整備機構	32億円	48億円	80億円
合計	40億円	60億円	100億円

- ウ 基金設置期間 10年間

② 地域密着型ビジネス創出助成事業【決算額：54,872千円】

ア 一般枠

法人を設立して地域に密着した事業に新たに取り組もうとする個人又はグループ等を対象として、助成事業の公募・採択を行うとともに、事業の立ち上げに必要な初期的経費の助成を行った。

【助成率：3分の2以内、限度額：3,000千円】

○平成23年度継続事業 16件（平成22年度採択分）【決算額：31,552千円】

○平成23年度採択事業 21件（公募3回、応募48件）【決算額：22,620千円】

	申請者	事業概要	採択額 (単位：千円)	決算額 (単位：千円)
第1回	菊川 あずさ	廃棄予定タオル・B品タオルなどを活用した女性用機能パッド開発事業	3,000	3,000
	田村 有加	古民家「和蔵一畳庵」にて、茶店の運営及び、久万高原特産品の紹介・販売事業	2,248	1,009
	川崎 暁子	販路と市場を開拓し、自然な流通の流れを消費者側から作っていくしくみを創出する「ママ・ラボ」事業	1,604	928 24年度事業
	井上 大輔	県産無垢材を使用した『思い出とこだわりのフェュージョンファニチャー』の製造・修理・販売事業	1,338	757

	アイシス(株)	愛媛の良さを体感できる「ご当地弁当」の企画・製造・販売事業	2,200	800 24年度事業
	(株)ハーモニープロジェクト	媛っこ地鶏&いも豚を使用した当店人気ヘルシーメニューの加工・販売事業	2,029	1,979
	佐伯 裕子	「美味しい食生活&快適な生活」が楽しめる移動販売車による生活支援サービス事業	3,000	3,000
第2回	カイゼン(株)	「ミカンでミカンを育てる」プロジェクト（みかんの搾りかすを活用した炭化堆肥製造事業）	3,000	2,660 24年度事業
	松本 千年	県内産オーガニック野菜プラスワン（飲食・テイクアウト・体験、加工品）事業	1,500	0 24年度事業
	溝渕 哲生	『人とペットが共生』するワンワンファミリー事業	3,000	2,935
	伊藤 卓也	愛媛県の”愛あるブランド”に認定された地域資源「媛っこ地鶏」の料理開発・販売事業	2,980	2,980
	今井 博	宇和海「海のお花畑」マリンレジャー事業	1,500	0 24年度事業
	(株)季節園	愛南町の農作物を原料とした加工品開発・販売事業	2,698	2,572
	合同会社マルシェなんよ	宇和島産『米粉』と『柑橘』にこだわった『新宇和島名物』和洋スイーツの開発・販売事業	2,400	0 24年度事業
第3回	池田 広美	首都圏への愛媛産品販売拡大及び地域マネジメント事業	1,857	24年度事業
	山内 政志	観光農園による規格外のもぎたて果実を使った地域密着スイーツ等の移動キッチン事業	3,000	24年度事業
	入江 静樹	愛媛県産のニンニクを使った新しい愛媛のお土産事業	3,000	24年度事業
	MSS(株)	県産柑橘等を使った冷凍ジェラートワッフルの製造及び販売事業	2,166	24年度事業
	鈴木美恵子	まちなか劇場による芸術文化交流事業	3,000	24年度事業
	(株)ミライカナイ	スポーツと旅を基軸にした全国出版および情報発信事業	3,000	24年度事業
	(株)ワークメイト	季節の地元農産物を活用したスープとジャムの製造事業	2,984	24年度事業
	計21件		51,504	22,620

イ ビジネスデザイン枠

デザイナー等との協働による商品開発、デザイン企画開発などにかかる必要経費を助成
 <募集期間>

平成23年6月1日（水）～平成23年6月30日（木）

【助成率：2分の1以内、限度額：重点枠2,500千円、一般枠1,500千円】

○平成23年度採択事業 1件（公募1回、応募2件）【決算額：700千円】

申請者	事業概要	採択額 (単位：千円)	決算額 (単位：千円)
(資)カタリナフード工房（一般枠）	「カタリナフード工房」ブランド化のためのデザイン開発	700	700

ウ メッセチャレンジ枠

国内外で開催される見本市・商談会等への出展、参加にかかる必要経費を助成

【助成率：2分の1以内、限度額：500千円】

<募集期間>

平成23年4月11日（月）～平成23年5月10日（火）

○平成23年度採択事業 0件（応募1件）

③ 活力創出助成事業【決算額：87,326千円】

成長が見込まれる分野における技術開発、商品開発、販路開拓等に取り組む中小企業者又は中小企業者のグループを対象として、助成事業の公募・採択を行った。

ア えひめプロダクツ市場開拓助成事業

(ア) ビジネスデザイン助成事業【決算額：4,418千円】

デザイナー等との協働による商品開発、デザイン企画開発などにかかる必要経費を助成

【助成率：2分の1以内、限度額：重点枠2,500千円、一般枠1,500千円】

<募集期間>

平成23年6月1日（水）～平成23年6月30日（木）

○平成23年度継続事業 1件（平成22年度採択分）【決算額：1,367千円】

○平成23年度採択事業 4件（応募8件）【決算額：3,051千円】

申請者	事業概要	採択額 (単位：千円)	決算額 (単位：千円)
株開商店 (一般枠)	「デカルコマジック」の印刷技術を応用した新商品 「絆ブランド」の開発	1,500	976
株TAMU (重点枠)	シェフ監修による「紙ダル」の改良・リデザイン及び PRツールの開発	1,095	1,095
三星食品工業(株) (一般枠)	トータルデザインのブラッシュアップによるブラン ド化	980	980
(有)昭和建築設計事 務所 (一般枠)	小田深山の天然産品を活用した特産品開発	575	0 事業廃止
4件		4,150	3,051

(イ) メッセチャレンジ助成事業【決算額：1,535千円】

国内外で開催される見本市・商談会等への出展、参加にかかる必要経費を助成

【助成率：2分の1以内、限度額：500千円】

<募集期間>

平成23年4月11日（月）～平成23年5月10日（火）

○平成23年度採択事業 6件（応募6件）

申請者	出展商品／出展先	採択額 (単位：千円)	決算額 (単位：千円)
吉井タオル(株)	〔タオル製品〕2重織り先晒しパイルガーゼタオル ／New York International Gift Fair (ニューヨ ーク)	500	420
株砥部焼千山	〔砥部焼〕砥部焼(現代に合った器の製作)／名古屋 テーブルトップショー(名古屋)	401	50
株ミヤタニ	〔包装機械〕贈答品のし紙貼り専用機／日本国際包 装機械展2011(東京都)	500	486

村上タオル(株)	[タオル製品] ジャパンブランド認定商品、サロン専用100色カラータオルほか/ビューティーワールドジャパン (東京都)	500	421
(株)母恵夢本舗	[菓子] 純生入り大福、母恵夢、うずしおパイ他/「食の魅力」発見プロジェクト2011 (東京都)	125	83
八水蒲鉾(株)	[水産加工品] FDちくわ、フィッシュボール (湯戻りの良い乾燥水産練り製品) / 「食の魅力」発見プロジェクト2011 (東京都)	75	75
6件		2,101	1,535

イ がんばるものづくり企業助成事業

<募集期間>

平成23年8月1日(月)～平成23年9月15日(木)

(ア) F S調査助成事業

独創的で市場性が見込まれる技術シーズについての技術的データの取得・検証、独創的な新製品・新サービスによる事業展開に関する市場性・事業性向上に係る調査研究等の取組への助成

【助成率：3分の2以内、限度額：1,000千円】

○平成23年度採択事業 1件(公募1回、応募2件) 【決算額：0千円】

申請者	事業概要	採択額 (単位：千円)	決算額 (単位：千円)
(株)大五木材	高付加価値型建材開発及び市場性にかかる調査研究	966	0 24年度事業

(イ) スーパーベンチャー助成事業【決算額：4,488千円】

独創的で著しく新規性のある創造的知識を活用したリスクの高い新技術の研究開発等の取組への助成

【助成率：5分の4以内、限度額：20,000千円/年(最大2年)】

○平成23年度継続事業 1件(平成21年度採択分)

○平成23年度採択事業 該当なし(応募なし)

(ウ) 研究開発助成事業【決算額：63,819千円】

モノ作り分野においてけん引役となるような新技術・新製品の研究開発、県内の健康福祉研究成果を事業化するための新技術・新製品の研究開発や、IT分野の有望案件に係る新技術・新製品の研究開発の取組への助成

【助成率：3分の2以内、限度額：一般枠20,000千円、小規模枠3,000千円/年(最大2年)】

○平成23年度継続事業

一般枠3件(平成21年度採択分) 【決算額：6,809千円】

一般枠6件、小規模枠5件(平成22年度採択分) 【決算額：41,928千円】

○平成23年度採択事業 一般枠6件、小規模枠2件(応募：一般枠8件、小規模枠4件) 【決算額：15,082千円】

申請者	事業概要	採択額 (単位：千円)	決算額 (単位：千円)
(株)山本製作所 (一般枠)	集光型太陽光発電用フレネルレンズの大量生産化に向けた金型の研究開発	11,144	0 24年度 事業
(株)リーガル (一般枠)	成年後後見活動支援システムの開発	4,958	1,804 23、24年度 事業
パーカル(株) (一般枠)	使用者自身で簡単にフィッティングを行うことができる、難聴者向け聴覚補装具の開発	15,177	9,199 23、24年度 事業
光永産業(株) (一般枠)	大型資材、重機運搬用の超大型モノレールの開発(動力車+レール構造)	4,900	400 23、24年度 事業
(株)Kasaikan (一般枠)	ソーラーシステムを電源として利用する現地組立て式LED照明装置の開発	3,532	1,581 23、24年度 事業
(株)トーヨ (一般枠)	産業洗浄(高圧洗浄作業)用強化服の開発	3,863	158 23、24年度 事業
(有)愛トリノ (小規模)	変形性膝関節症(0脚)の進行をくい止める3Dモーション膝装具の開発と事業化	2,999	1,427 23、24年度 事業
(株)ホクト (小規模)	高性能スイッチド・リラクタンスモータの開発	3,000	513 23、24年度 事業
8件		49,573	15,082

ウ 新規ビジネス展開助成事業【決算額：13,066千円】

<募集期間>

平成23年8月1日(月)～平成23年9月15日(木)

本県が有する優れた技術シーズを活用した新事業の展開や、新製品・新サービスによる新たな事業展開の取組への助成

【助成率：2分の1以内、限度額：5,000千円】

○平成23年度継続事業 一般枠3件(平成22年度採択分)【決算額：4,423千円】

○平成23年度採択事業 3件(応募8件)【決算額：8,643千円】

申請者	事業概要	採択額 (単位：千円)	決算額 (単位：千円)
(株)イトウ	シート状化粧品の製造販売事業	5,000	0 24年度事業
愛弘商事(株)	国内飲料メーカーで発生する未利用資源を活用した紙類の製造販売	4,211	3,643 23、24年度 事業
愛工房(株)	愛媛県産養殖わかめ1次加工ボイル・塩酸処理を行う施設整備事業	5,000	5,000
3件		14,211	8,643

④ 地域密着型ビジネス創出支援事業

ア コーディネーターの設置

地域密着型ビジネス担当のコーディネーターを4名設置し、ビジネスシーズの発掘と事業化に向けたコーディネートを行うとともに、発掘案件の事業計画・収支計画等ビジネスプランの作成支援などを行った。

- 相談件数
562件
 - 申請支援
「地域密着型ビジネス創出助成事業」申請支援48件（うち採択21件）
 - 創業（法人化）件数
2件
- イ ワークショップ開催事業
- (ア) ワークショップ
地域密着型ビジネスへの取り組みを啓発・促進するため、ビジネスシーズの発掘方法、事業計画の作成方法など、地域密着型ビジネスを立ち上げるにあたって必要となる知識習得を行う研修を合計8回行った。
- 創業講座
今治市会場にて3回、松山市会場にて2回、宇和島市会場にて3回実施
- (イ) ファンド助成企業マッチング会
当財団初の試みとして、助成企業が一堂に会して、各々の商品、サービスをプレゼンテーションして、マッチングすることにより、各企業が連携したブランド構築、新商品開発及び販路開拓などを目的として、マッチング会を開催した。
加えて、県下バイヤーも参加し、参加企業への具体的なアドバイスにより商品力アップや販路拡大などを図った。
開催日：平成23年12月6日（火）
開催場所：テクノホール
参加者：助成企業39社、地元バイヤー5社 総勢100名
- (ウ) 「FOODEX JAPAN2012」愛媛県ブース
当財団初の試みとして、愛媛の食品の魅力を発信し県内中小企業者等の販路開拓を図るため、当財団と愛媛県及び関係機関が連携し、国内最大級の食をテーマとした展示会である「FOODEX JAPAN2012」に大規模共同出展型の「愛媛県ブース」を出展し、知事にトップセールスをいただき24小間（29企業）を支援した。
開催日：平成24年3月6日（火）～9日（金）
開催場所：幕張メッセ
県ブース来場者：食品・飲料のバイヤー7,426社（商社・卸、小売等）

⑤ 活力創出支援事業

ア ものづくり企業マッチング支援事業【決算額：7,000千円】

<支援企業募集期間>

平成23年4月4日（月）～4月20日（水）

県内ものづくり中小企業群と県内外大手企業等とのマッチングによる、県内中小企業における新製品の開発等への支援を行うため、県内産業支援機関に対し必要経費の一部を助成した。

【助成率：10分の10以内、助成額：7,000千円】

産業支援機関	実施内容	採択額 (単位：千円)	決算額 (単位：千円)
財団法人 東予産業創造センター	ジョイントコーディネーターの設置	7,000	7,000
	次世代技術研究会、先進加工技術研究会、これからの会社経営勉強会の開催、個別研究会の設置・運営		
	機械要素技術展（東京）出展のよる大企業・中堅企業とのビジネスマッチング・(株)ケイエスピー主催商談会等へ県内企業を参加させ合計11件マッチングした。		

イ えひめプロダクツ市場開拓支援事業（国内枠）【決算額：1,392千円】

＜支援企業募集期間＞

平成23年4月4日（月）～4月20日（水）

販路開拓のノウハウを有する外部専門家等を活用した、県内外の販売見込み先開拓のための仕組み構築への支援を行うため、県内産業支援機関に対し必要経費の一部を助成した。

産業支援機関	実施内容	採択額 (単位:千円)	決算額 (単位:千円)
愛媛県中小企業団体中央会	販路開拓のノウハウを有する外部専門家（販路開拓ナビゲーター）を活用した、首都圏の販売見込先紹介・マッチング、販売戦略会議、商品評価指導及び販路開拓現地指導の実施により、市場開拓の支援を行った。	1,492	1,392

ウ えひめプロダクツ市場開拓支援事業（グローバル枠）【決算額：321千円】

＜支援企業募集期間＞

平成23年4月4日（月）～4月20日（水）

海外とのビジネス交流を意図する県内中小企業について、現地関心企業等の発掘や商談アレンジ等への支援を行うため、県内産業支援機関に対し必要経費の一部を助成した。

【助成率：10分の10以内、限度額：500千円】

産業支援機関	支援企業	採択額 (単位:千円)	決算額 (単位:千円)
独立行政法人 日本貿易振興機構 愛媛貿易情報センター	(株)横崎製作所、四国タオル工業組合、 (株)中温	500	321

エ 技術・経営力フォローアップ事業

(ア) 助成事業実施企業ハンズオン支援事業（実施者募集）

産業支援機関を対象として、「がんばるものづくり企業助成事業、新規ビジネス展開助成事業実施企業ハンズオン支援」の公募を行い、1件（財今治地域地場産業振興センター）の応募を受理し、スーパーベンチャー助成事業実施事業者（(株)上脇）を支援する取組みにかかる必要経費を助成した。

(イ) 助成事業実施企業ハンズオン支援事業（専門家派遣）

財団直営で、がんばるものづくり企業助成事業、新規ビジネス展開助成事業実施事業者へのハンズオン支援を実施することにより、助成事業が円滑に遂行されることを目的とするものであり、3件（がんばるものづくり企業助成事業実施事業者（(株)リーガル、(株)Kasaikan）新規ビジネス展開助成事業実施事業者（(株)愛工房）のハンズオン支援を実施した。

⑥ 管理事業

地域密着型ビジネス創出助成事業及び地域密着型ビジネス創出支援事業並びに活力創出助成事業及び活力創出支援事業を円滑かつ適正に実施するために必要な交付事務及び運用事務等の業務を行った。

(8) えひめ農商工連携ファンド事業 (内訳表⑤)

農林漁業者と中小企業者とが有機的に連携し、それぞれの経営資源を有効に活用して行う、新商品・新サービスの開発、農林水産業関連ビジネスの推進を支援し、農林漁業者と中小企業者との連携強化による地域経済の活性化を図るため、「えひめ農商工連携ファンド」を平成22年2月に創設し、農商工連携助成事業及び農商工連携支援事業を実施した。

① 基金の造成状況

- ア 基金総額 25億円
イ 拠出機関 (無利子貸付)

拠出機関	合計
愛媛県	1億1千5百万円
株式会社伊予銀行	2千5百万円
株式会社愛媛銀行	2千5百万円
愛媛信用金庫	2千5百万円
愛媛県信用農業協同組合連合会	3億円
愛媛県信用漁業協同組合連合会	1千万円
独立行政法人中小企業基盤整備機構	20億円
合計	25億円

ウ 基金設置期間 10年間

② 農商工連携助成事業【決算額：31,627千円】

農林漁業者と中小企業者等が有機的に連携し、新たな商品・サービスの開発などにかかる必要経費を助成

【助成率：3分の2以内、限度額：5,000千円】

<募集期間>

平成23年4月1日(金)～平成23年4月28日(木)

○平成23年度採択事業 11件(応募13件)

申請者		事業概要	採択額 (単位：千円)	決算額 (単位：千円)
中小企業者	農林漁業者			
株キシモト	有昭和水産	魚骨の軟化技術を用いた高付加価値水産商品の開発と販路開拓	4,996	4,978
有三府すし 株グリーンエンタープライズ	愛南漁業協同組合	高性能冷凍技術を活用した水産物加工品の開発	4,981	4,082
菓工房 後藤	濱田農園	柑橘を利用したみかん味落雁等の和菓子の開発	1,666	699
株サノエエンジニアリング	重藤農園	久万高原町産の農産物を活用した「生麺」の開発	4,321	4,213
有矢野食品	高橋農園 日野農園	西条市の農産物と氷温庫を活用した添加物減量キムチ・浅漬けなどの開発	3,934	2,143
森松建設	越智今治森林組合	愛媛県産材を活用した耐震シェルターの開発	4,610	2,680
森文醸造(株)	株水の愛	琥珀にんにくを活用した加工品の開発	4,170	3,559
有大和屋本店旅館 有越智菓子店	愛媛たいき農業協同組合	愛媛県産の野菜など農産物を使ったスイーツの開発	2,866	2,866
近藤酒造(株) 有永久堂	東予園芸農業協同組合	果実などの特産品を活用したリキュールとスイーツの開発	3,589	1,036

株式会社 子飴本舗	大西茶園	特別栽培農産物の茶を活かしたスイーツなどの開発	3,583	2,195
有限会社 藤重晴商店	大久保農園	柑橘の果汁・内果皮等を活用した商品開発	4,738	3,176
11件			43,454	31,627

③ 農商工連携支援事業【決算額：8,125千円】

農林漁業者と中小企業者等との連携体を支援する取組みにかかる必要経費を助成した。

【助成率：10分の10以内、限度額：3,000千円】

<募集期間>

平成23年4月1日（金）～平成23年4月28日（木）

○平成23年度採択事業 3件（応募3件）

産業支援機関	実施内容	採択額 (単位：千円)	決算額 (単位：千円)
愛媛県中小企業団体中央会	県内産の「柑橘類」や「水産物」を活用した商品開発支援（8回）や展示会出展など販路開拓等に対する総合的な支援を実施	3,000	2,930
愛媛県農業協同組合中央会	商品開発や販路開拓に資するセミナー（3回）や展示会出展など販路開拓等に対する総合的な支援を実施	2,814	2,474
松山商工会議所	商品開発や販路開拓に資するセミナー（3回）や展示会出展など販路開拓等に対する総合的な支援を実施	2,980	2,721
3件		8,794	8,125

④ 管理事業

農商工連携助成事業及び農商工連携支援事業を円滑かつ適正に実施するために必要な交付事務及び運用事務等の業務を行った。

(9) 中小企業活力創出アシスト事業（内訳表②）

愛媛県ふるさと雇用再生特別基金事業により、愛媛県からの委託を受けて、専門的・技術的職能を有する失業者等を公募により雇用し、県内中小企業に調査員として派遣し、経営状況の調査、経営課題の抽出等に取り組み、各種支援施策を提案するなど中小企業の支援を行った。

併せて、調査員のコーディネート技術の向上及びスキルアップを図り、コーディネーター人材の育成を図った。

・調査員（6名）の設置

中小企業活力創出コーディネーター1名

調査コーディネーター5名

○延訪問企業社数583社（調査期間：4月～3月）

(10) 農商工連携プロジェクトマネージャー設置事業（内訳表②）

えひめ農商工連携ファンド事業を計画的、効果的に実施するため、財団に農商工連携プロジェクトマネージャー1名を配置し、県内の農商工連携の促進を図った。

平成23年度相談件数：212件

(11) 起業化シーズ育成支援事業（内訳表④）

大学等高等教育機関及び公設試験研究機関の技術シーズの発掘を行い、産業界の新事業進出や既存企業の新事業展開に寄与するため、大学・公設試等の研究者が実施する独創的な研究開発に対し研究補助及び研究委託を行った。平成23年度は5件採択。

【補助率等：10分の10以内、補助金額等：100万円以内】

機 関	提案者	テーマ名
愛媛大学 農学部	准教授 岸田 太郎	エストロゲン作用に因らない安全な機構による大豆イソフラボンの抗肥満効果
愛媛大学 総合情報メディアセンター	助教 佐々木 隆志	スマートフォンによる自律分散型音響位置測定装置に関する研究
愛媛大学 農学部	准教授 川嶋 文人	製紙スラッジの効率的糖化技術の開発
産業技術研究所 技術開発部	主任研究員 仙波 浩雅	植物の茎ひずみ評価センサの信頼性向上に関する研究
産業技術研究所 技術開発部	主任研究員 福垣内 暁	アコヤ廃貝殻を利用したインクジェット用紙の開発

(12) ライフサポート産業支援事業（内訳表⑥）

人々の生活に役立つ製品の製造・販売に積極的な企業等が連携するためのネットワーク形成を図るとともに、生活支援用具等の開発促進に向けての研究部会の開催を行った。

ア 水引ベビーシャワー研究会

米国では一般的な出産前のお祝いパーティーをテーマに、現代の消費者、特に感性の高い女性層の生活スタイルやニーズに合った水引製品の新品（へその緒ケース、フォトフレーム、ディフューザー）の試作をするなど、研究部会を7回開催した。

メンバー	(産) (有)ヤマニシ、マルマツ紙業(株)、(株)伊予結納センター、カワイチ(株)、 (社)愛媛県紙パルプ工業界、四国中央商工会議所 (官) 愛媛県産業技術研究所紙産業技術センター、四国中央市	
専門家	S DESIGN STUDIO 代表 佐野 勝久	
会 議	開催日	場 所
第1回	H23. 7.20	愛媛県産業技術研究所紙産業技術センター
第2回	8.23	〃
第3回	9.22	〃
第4回	10.21	〃
第5回	11.25	〃
第6回	H24. 1.16	〃
第7回	3.16	〃

イ 多機能ステッキ研究会

有限会社オルソー本田をコア企業に、杖（ステッキ）とリーチャーの組み合わせた多機能杖の研究・開発するため、市販されているステッキやリーチャーの機能調査を行うと共に、既存ステッキとリーチャーを組合せて多機能なステッキを試作するなど、研究部会を6回開催した。

メンバー	(産) (有)オルソー本田、合同会社ぶう工房	
専門家	レック コンサルティング オフィス 代表 大須賀 泰昌 (有)野村自動車 代表取締役 野村 繁樹	
会議	開催日	場所
第1回	H23. 5.30	テクノプラザ愛媛
第2回	8. 5	〃
第3回	9.21	〃
第4回	11.11	〃
第5回	H24. 1.27	〃
第6回	3.21	〃

(13) 中小企業製品開発プロジェクト支援事業（内訳表⑥）

ア 他産業副産物を利用した環境負荷低減アスファルト混合物の研究部会

経済産業省の地域新生コンソーシアム事業（平成18～19年度）のフォローアップ事業として、株式会社愛亀外2機関が製紙及びびガラス業界から発生する副産物を使用したアスファルト工法の検討を行うなど、研究会を2回開催した。

メンバー	(産) (株)愛亀 (官) 愛媛県産業技術研究所技術開発部、紙産業技術センター	
専門家	北海道工業大学 名誉教授 笠原 篤 日本建設技術株式会社 材料研究室 室長 松尾 保成 (社)愛媛県紙バルブ工業界 環境保全委員長 宇高 昭造	
会議	開催日	場所
第1回	H23. 7. 8	テクノプラザ愛媛
第2回	12.14	愛媛県産業技術研究所紙産業技術センター

イ イグサ染色研究会

経済産業省の地域資源活用型研究開発事業（平成19～20年度）のフォローアップ事業として、有限会社諏訪紋匠外2機関が製品の性能向上のため、退色性に優れたイグサすだれ、名刺入れ等の試作、耐光試験を行うなど、研究会を3回開催した。

メンバー	(産) (有)諏訪紋匠、西染工(株) (官) 愛媛県産業技術研究所繊維産業技術センター	
専門家	愛媛大学社会連携推進機構 客員教授 岡田 文明	
会議	開催日	場所
第1回	H23. 8.25	愛媛県産業技術研究所繊維産業技術センター
第2回	12.22	〃
第3回	H24. 3. 5	〃

(14) 戦略的技術開発プロジェクトブラッシュアップ事業（内訳表②）

地域経済の活性化に向け、産学官連携の先導役となる優れた技術プロジェクトの育成を図るため、技術開発プロジェクト・プロデューサー等が発掘したプロジェクトを、競争的資金の獲得に向けたブラッシュアップを行った。県内外のマーケティングや共同研究に関する専門家を招聘し「戦略的技術開発プロジェクトブラッシュアップ委員会」を4回開催した。

開催場所		テクノプラザ愛媛
第1回	開催日	H23. 4.25
	提案事業名	基盤技術高度化支援事業
	招聘専門家	2名
第2回	開催日	H23. 5.17
	提案事業名	基盤技術高度化支援事業
	招聘専門家	2名
第3回	開催日	H23. 8. 8
	提案事業名	課題解決型医療機器開発支援事業
	招聘専門家	2名
第4回	開催日	H24. 3.23
	提案事業名	基盤技術高度化支援事業
	招聘専門家	3名

(15) イノベーションシステム整備事業（一般型）（内訳表②）

テーマ名「持続可能な“えひめ発”日本型養殖モデルの創出」

日本でトップレベルの海面養殖業の一大集積地である愛媛県南予エリアで、大学、研究機関の有する海況観測技術、トレーサビリティシステム技術、機能性成分の生理機能評価技術、種苗生産技術等の優れたシーズを、地域養殖業関係者の保有する技術等へ融合させることにより、高収益でかつ安全・安心を保障できる、持続可能な“えひめ発”日本型養殖モデルの創出を目指した。

中核機関	(財) えひめ産業振興財団
委託先	(学) 愛媛大学、香川大学、高知大学、徳島文理大学、三重大学、水産大学校 (官) 愛媛県農林水産研究所
研究開発事業	1 高度管理型魚類養殖技術の研究開発 2 未利用バイオマス飼料化技術の研究開発 3 温暖化対応型真珠養殖技術の研究開発
研究交流事業	セミナー、研究会等の開催 シーズ・ニーズマッチング、パイロットモデル調査 可能性試験の実施
事業期間	H21～23年度（3年間）

(16) 戦略的基盤技術高度化支援事業（内訳表②、7月補正）

国内製造業の国際競争力の強化と新たな事業を目指し、中小企業のものづくり基盤技術（鋳造、鍛造、切削、めっき等）に資する革新的かつハイリスクな研究開発等を促進するため、経済産業省から委託事業を受け、当財団が管理法人として次の4事業を実施した。

ア 天然高分子原料を使用した微細繊維複合不織布の開発

期 間	平成22～23年度（2年間）		
研究実施機関	(産) シンワ株 (学) 新居浜工業高等専門学校 (官) 愛媛県産業技術研究所紙産業技術センター		
研究開発 推進委員会	第1回	開催日	H23. 6.20
		場 所	テクノプラザ愛媛
	第2回	開催日	H24. 2.13
		場 所	愛媛県産業技術研究所紙産業技術センター
成 果 等	キトサンナノファイバーの連続生産を可能とすることで生産性を向上させることができ、打ち抜き加工時のナノファイバーの剥離や破れを無くすることができた。試作した美容用フェイスマスクは従来製品と同様に、取り扱いやすい仕上がりとなった。		

イ 炭素繊維強化プラスチック用三次元形状のプレス切断金型および成型／切断金型の開発

期 間	平成22～24年度（3年間）		
研究実施機関	(産) ヤマセイ株（株山本製作所から分社）、東レ株 (学) 愛媛大学 (官) 愛媛県産業技術研究所		
研究開発 推進委員会	第1回	開催日	H23. 6.17
		場 所	テクノプラザ愛媛
	第2回	開催日	H24. 2. 8
		場 所	テクノプラザ愛媛
成果等	CFRP材の切断条件や金型膨張量をCAD・CAEシステムを使って解析し、その結果を切断金型の設計や製作に反映することができた。製作した金型を加熱または高温条件の下でCFRP材を切断したところ、非常に良好な結果が得られた。		

ウ バイオガスの高度精製・熱量調整設備の開発

期 間	平成22～23年度（H23.2～H24.1）		
研究実施機関	(産) 萩尾高压容器株、クラレケミカル株 (学) 愛媛大学 (官) 愛媛県産業技術研究所		
研究開発 推進委員会	第1回	開催日	H23. 6.30
		場 所	テクノプラザ愛媛
	第2回	開催日	H23.12. 8
		場 所	萩尾高压容器株

成果等	バイオガス中の硫化水素除去剤を開発すると共に、バイオガス処理量 1 Nm ³ /hr (0.9万m ³ /年) の熱量調整テスト機を導入して、自動熱量調整の制御手法を確立した。バイオガスマスフローメータ、LPGマスマスフローコントローラー、熱量計、指示調節計というシンプルな設備構成でバイオガスの熱量自動調整運転ができた。
-----	---

エ 画像処理を用いた薬剤分包機用計測モジュールおよびカートリッジの開発(7月補正)

期 間	平成23～24年度(2年間)		
研究実施機関	(産) システムエルエスアイ(株)、土佐電子工業(株) (学) 徳島大学、高知工科大学 (官) 愛媛県産業技術研究所		
研究開発 推進委員会	第1回	開催日	H23.11.28
		場 所	テクノプラザ愛媛
	第2回	開催日	H24. 2. 8
		場 所	テクノプラザ愛媛
成果等	薬剤カートリッジからの直接分包機構を実現するため新たに画像処理技術を用いた粒体計測手法を利用し、簡易な操作で種々の散剤が分包できる分包機(開発ソフトウェア組込み)を試作したところ、100%の識別精度と100msec以内の識別処理、0.9%以下の誤差まで測定精度を高めることができた。		

(17) 愛媛県地域連携・提案型重点分野(改造電気自動車)雇用創出事業(内訳表②)

県内企業や団体等が愛媛EV関連産業の創出等を図るため「愛媛県EV推進協会」が発足し、県のEV開発プロジェクトと連携して、協会会員の支援を実施した。

設 立	平成22年10月22日
会 長	愛媛大学 社会連携推進機構長
会員数	122企業・団体・個人
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・メールによる定期的な会員への情報発信 ・ホームページの運営、管理 ・会員からの問い合わせへの対応
事務局	(財) えひめ産業振興財団
事業期間	H22～23年度(H23.1～H23.12)

(18) ロボットスーツを活用した健康ビジネス推進事業(内訳表②)

高齢者・障がい者のリハビリ訓練や介護における支援機器として、医療機関や福祉施設での活用や普及が見込まれるロボットスーツを、現場での活用支援や展示・試着体験をとおして、PR活動を行った。

活用支援	医療機関等	愛媛県立中央病院等13機関	延べ49回実施
	福祉施設等	しげのぶ清流園等18機関	延べ51回実施
講演会	健康ビジネスセミナー 講師：山海嘉之、長谷川真人		受講者60名
展示会、イベント	キッズフェスタ等		延べ20回実施

(19) 課題解決型医療機器の開発・改良に向けた病院・企業間の連携支援事業（内訳表②、9月補正）

医療現場からのニーズが高い研究課題に対し、地域の特色あるものづくり技術を有する中小企業等と、それらの課題を有する医療機関や研究機関とが連携した「医工連携」による医療機器の開発・改良を目的として、新たな腫瘍の焼灼治療器機器を開発するため、治療針や焼灼治療器機の試作を行うと共に探索的治験にとりかかった。

期 間	平成23～25年度（3年間）		
研究実施機関	(産) ㈱アドメテック、田中技研㈱、小松パワートロン㈱ (学) 愛媛大学、金沢大学		
研究開発 推進委員会	第1回	開催日	H23.11.22
		場 所	テクノプラザ愛媛
	第2回	開催日	H24. 1.24
		場 所	テクノプラザ愛媛
成果等	治験届けがPMDAに受理され、またIRBに承認され愛媛大学附属病院で探索的治験を開始した。また、磁場異方性の改善を目的とした2重構造針を6種類試作したり、自己発熱針の試作仕様を決めたりした。		

第2 庶務の概要

1 役員等の状況

21名

(内訳)	評議員	8名
	理事長	1名
	専務理事	1名
	常務理事	1名
	理事	8名
	監事	2名

評議員

平成24年5月18日現在

職名	氏名	役職名
評議員	川上敏寛	愛媛県産業支援局長
〃	藤田仁	松山市産業経済部長
〃	浅野剛	松山大学経営学部長
〃	谷口佳文	新居浜工業高等専門学校副校長
〃	長谷川寿	愛媛経済同友会専務理事
〃	是澤一記	愛媛県信用保証協会業務統括部長
〃	大西裕	愛媛県市長会事務局長
〃	渡部明忠	愛媛県町村会事務局長

任期：平成27年度開催定例評議員会終了時まで

理事等

平成24年5月18日現在

職名	氏名	役職名
理事長	森田浩治	株式会社伊予銀行頭取
専務理事	村上哲義	公益財団法人えひめ産業振興財団総務企画部長
常務理事	杉本譲	公益財団法人えひめ産業振興財団産業振興部長
理事	中山紘治郎	株式会社愛媛銀行頭取
〃	矢田部龍一	国立大学法人愛媛大学社会連携推進機構長
〃	服部正	社団法人愛媛県紙パルプ工業会会長
〃	平尾浩一郎	四国タオル工業組合理事長
〃	越智仁司	愛媛県輸出縫製品工業協同組合理事長
〃	塩崎桂	愛媛県商工会議所連合会事務局長
〃	高橋章司	愛媛県商工会連合会事務局長
〃	高市敦史	愛媛県中小企業団体中央会事務局長
監事	山本泰正	愛媛信用金庫理事長
〃	篠原一志	愛媛県信用農業協同組合連合会理事長

任期 理事：平成25年度開催定例評議員会終了時まで
監事：平成27年度開催定例評議員会終了時まで

評議員選定委員

平成 24 年 3 月 31 日現在

区 分	氏 名	現 職 名
外部委員	桐 木 陽 子	松山東雲短期大学教授
〃	藍 場 建 志 郎	(株)日本政策投資銀行松山事務所長
評 議 員	高 橋 正 浩	愛媛県経済労働部産業創出課長
監 事	山 本 泰 正	愛媛信用金庫理事長
事務局員	村 上 哲 邦	(財)えひめ産業振興財団総務課長

2 理事会の開催状況

開催年月日	開催場所	付議事項	議決状況
平成23年 4月27日(水)	持ち回り	(1)評議員の委嘱について (2)評議員選定委員会に推薦する評議員候補者の一部変更について	原案議決
平成23年 5月27日(金) 13:40～	テクノプラザ愛媛 特別会議室	(1)平成22年度事業及び決算について (2)平成23年度事業計画の一部変更並びに収支予算の補正について (3)会計監査人の選任について (4)理事長、専務理事及び常務理事の選任について (5)定款(寄付行為)の変更について (6)専務理事及び常務理事の執行事務について (7)公益認定の申請書について	原案議決
平成23年 7月13日(水)	持ち回り	(1)平成23年度事業計画の一部変更並びに収支予算の補正について (2)顧問の委嘱について	原案議決
平成23年 9月6日(火)	持ち回り	(1)平成23年度事業計画の一部変更並びに収支予算の補正について	原案議決
平成24年 1月31日(火)	持ち回り	(1)平成23年度収支予算の補正について	原案議決
平成24年 3月28日(水) 10:00～	テクノプラザ愛媛 特別会議室	(1)平成24年度事業計画及び収支予算について (2)諸規程の一部改正及び制定について (3)業務方法書の一部改正について (4)会計監査人に対する報酬等について (5)求償権の償却について (6)インキュベート・ルーム入居料等の償却について (7)平成23年度収支予算の補正について (8)公益財団法人えひめ産業振興財団の基本財産について	原案議決

3 評議員会の開催状況

開催年月日	開催場所	付議事項	議決状況
平成23年 4月27日(水)	持ち回り	(1)理事の選任について	原案同意
平成23年 5月27日(金) 10:00～	テクノプラザ愛媛 特別会議室	(1)平成22年度事業及び決算について (2)平成23年度事業計画の一部変更並びに収 支予算の補正について (3)理事及び監事の選任について (4)定款(寄付行為)の変更について (5)公益認定の申請書について	原案同意
平成23年 7月13日(水)	持ち回り	(1)平成23年度事業計画の一部変更並びに収 支予算の補正について	原案同意
平成23年 9月6日(火)	持ち回り	(1)平成23年度事業計画の一部変更並びに収 支予算の補正について	原案同意
平成24年 1月31日(火)	持ち回り	(1)平成23年度収支予算の補正について	原案同意
平成24年 3月27日(火) 14:00～	テクノプラザ愛媛 特別会議室	(1)平成24年度事業計画及び収支予算につて (2)諸規程の一部改正及び制定について (3)業務方法書の一部改正について (4)求償権の償却について (5)インキュベート・ルーム入居料等の償却 について (6)平成23年度収支予算の補正について	原案同意

4 評議員選定委員会の開催状況

開催年月日	開催場所	付議事項	議決状況
平成23年 5月12日(木)	えひめ共済会館	(1)最初の評議員の選定について	原案議決

5 職員の状況

平成24年4月1日現在

所 属	職 名	氏 名	備 考
総務企画部	部 長	村 上 哲 義	専務理事が兼務
○総務課	参 事 課 長	村 上 哲 邦	
〃	副 課 長	二 宮 厚	
〃	副 課 長	清 家 さつみ	
〃	担 当 係 長	木 下 学	
〃	主 任	武 田 和 高	
○企画情報課	課 長	有 田 秀 司	愛媛県産業創出課から派遣
〃	副 課 長	二 宮 厚	総務課副課長が兼務
〃	研 究 員	池 田 暁 彦	愛媛銀行から出向
○企業立地推進課	課 長	加 藤 健 一	愛媛県立地推進課と兼務
〃	主 任	安 部 恭 兵	〃
○中小企業支援課	課 長	村 上 哲 邦	総務課長が兼務
〃	副 課 長	竹 村 宏	
〃	主 任	穴 山 和 久	
産業振興部	部 長	杉 本 讓	常務理事が兼務。愛媛県経済労働部から派遣
○新事業支援課	課 長	鎌 田 正 也	愛媛県産業創出課から派遣
〃	担 当 係 長	西 川 昌 祐	
〃	研 究 員	城 田 清 文	伊予銀行から出向
〃	研 究 員	富 永 英 二	愛媛銀行から出向
○産業振興課	課 長	西 山 貴久哉	愛媛県産業創出課から派遣
〃	主 任	久 米 誠一郎	〃
〃	研 究 員	岡 山 亮 輔	伊予銀行から出向
○産学官連携推進課	課 長	青 野 洋 一	愛媛県産業技術研究所と兼務
〃	主 任	松 島 正	〃
〃	主 任	小 平 琢 磨	〃